

第 43 期第 6 回理事会議事録

日 時：2025 年 1 月 30 日（月）15 時 20 分～18 時 10 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議方式）

出席理事：阿部彩子, 荒川知子, 稲津将, 猪上華子, 今田由紀子, 榎本剛, 佐藤正樹, 笹川悠, 杉本志織, 竹見哲也, 竹村俊彦, 立花義裕, 中村尚, 原田やよい, 早坂忠裕, 堀之内武, 三好建正, 渡部雅浩 以上 18 名（理事総数 20 名）

欠席理事：青柳曉典, 江口菜穂 以上 2 名

出席監事：吉田聡, 川瀬宏明 以上 2 名

その他の出席者：勝山税, 福本昌史, 萬納寺信崇（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入について

新入会員 11, 退会 108 を全会一致で承認した。2025 年 1 月 23 日現在, 会員数 3, 292 名で個人会員は 3, 102 名。

2) 第 43 期第 5 回理事会議事録の確認

議事録案について, 全会一致で承認した。

3) 2025 年度総会告示, 総会参加依頼について

告示案, 依頼案について, 全会一致で承認した。

4) 2025 年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて

全会一致で承認した。

2. 報告事項

1) WG からの報告

① 大会実施形態の移行に関する WG・・・以下の内容が報告・議論された。

- ・ 2027 年度から春季大会は JpGU と合同開催, 秋季大会のみ気象学会単独開催とした際の WG 検討結果が報告され, 議論（発表申込では今と同じく, 口頭/ポスター/いずれでも良いという 3 択として, 口頭発表 2 件目はポスターに回される可能性があるとする。発表枠の時間から溢れる場合は, 休憩時間や早朝時間から工面・調整して, それでも溢れるなら口頭発表 2 件目を適切にポスターとする）。更に検討を深め, 次回 3 月の理事会で承認を目指す。

2) 業務執行理事の報告

① 「庶務」庶務報告(第 6 回)・・・以下の内容が報告された

- ・ 掲載許可（1 件）

1) ①株式会社アガルート 江口 真菜

【転載元】日本気象学会編「気象科学事典」（1998 年 10 月 2 日）318 ペー

ジ図3「風の南北循環」

【転載先】 気象予報士試験 過去問解説講座（※有償販売）

第 53 回気象予報士試験過去問題 一般知識 問 11 に当該図が掲載されているため図を教材に転載。教材は購入した受講生のみが閲覧できる形とし、紙での発送および講義動画内での映し出しに利用。

- ・ 後援名義等使用依頼受付（後援：1 件）

1) 名称：防犯防災総合展 2025

主催：防犯防災総合展実行委員会・一般財団法人大阪国際経済振興センター・テレビ大阪株式会社

期日：2025 年 4 月 16～18 日

会場：インテック大阪（大阪市住之江区南港北）

名義：後援

- ・ 寄附者リスト（2024. 12. 17～2025. 1. 29）

なし

② 会計担当執行理事(第 6 回)・・・以下の内容が報告された

- ・ 2024 年 12 月分の現預金検査
- ・ 流動資金(運転資金)の月ごとの推移

③ 各研究連絡会からの報告（2024 年度活動報告，2025 年度活動計画）

④ 第 16 回気象学史研究会の補助金報告

3) 委員会報告

① 「講演企画」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 2025 年度春期大会及び秋季大会並びに JpGU2025 に向けたスケジュール。

② 「天気編集」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 2025 年 1, 2, 3 月号の予定記事。
- ・ 「天気」の冊子体は在庫があり、有償で郵送が可能なことを周知する。

③ 「気象集誌編集」・・・以下の内容が報告・議論された。

- ・ Vol. 103, No. 1（2025 年 2 月）と Vol. 103 No. 2（2025 年 2 月）の掲載予定論文。審査中の論文リスト。
- ・ Springer へ移行した初年で投稿が少なくなることを懸念、投稿を歓迎。
- ・ 気象集誌論文賞について、2024 年の 2 件を選定した。これまで概ね各号（2 か月に 1 回）でハイライト論文を出し、そこから論文賞を選定した。ハイライト論文は同程度で出していきたい。

④ 「SOLA 編集」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 論文投稿・公開状況
- ・ 特別号企画予定「Special Edition on Recent Advances in the Global Energy and Water Cycle Exchanges (GEWEX) Sciences」(Vol. 21A)

- ・ 2024 年 12 月～2025 年 1 月 22 日の掲載論文：8 編
- ・ 2024 年 SOLA 論文賞の決定
- ⑤ 表彰関連・・・以下の内容が報告・議論された。
 - ・ 「学会賞候補者推薦」候補者が提示され、推薦理由について確認を行った。
 - ・ 「岸保・立平賞」前回理事会で指摘があった候補者推薦理由が適切に修正されていることを確認し、今後投票に進むこととした。
 - ・ 「正野賞」10/25 推薦委員会を開催、選定した 2 名の推薦文を確認した。
- ⑥ 「気象災害」・・・以下の内容が報告された。
 - ・ 気象学会等の知見を気象災害軽減に活用してもらうため、気象予報士会や気象キャスターネットワーク等に所属していない気象予報士等や民間企業の方に、気象学会に如何に入ってもらうかを議論・検討中。
- ⑦ 「気象研究コンソーシアム」・・・以下の内容が報告された。
 - ・ 「気象庁データを利用した気象に関する研究」運営委員会において、新規参加申請 1 件について書面審議中。
- ⑧ 「教育と普及」・・・以下の内容が報告された。
 - ・ 2025 年度事業計画の報告
 - ・ ジュニアセッションの募集と進捗の報告
 - ・ 中高生の国際会議出席のための旅費補助規程（案）について報告、議論した。対象を明確化する等の規程案修正をするとともに、旅費補助の申請様式案等も含めて、理事会で検討する。
 - ・ 気象災害委員会から今後の連携強化が求められていることを報告
 - ・ 気象教育セミナー（2025 年 1/12）実施報告
 - ・ サイエンスカフェ 1/19 実施を報告
- ⑨ 「国際学術交流」・・・以下の内容が報告された。
 - ・ 小倉特別講義の報告（第 4 回について 2024 年 11/15 実施、その会計及び内容報告。第 5 回を 2025 年秋季大会で開催予定）
 - ・ 第 4 回アジア気象学会（ACM2024）の 2024 年 11/18-20 実施、その会計及び内容報告。次回の日本開催は通常周期だと 6 年後の 2030 年だが、2032 年の気象学会 150 周年も意識して開催時期や、必要額の積み立ては今後の検討。
 - ・ 第 1 回 J-NACS（気象学・大気科学・気候科学分野でグローバルに活躍する研究者のネットワーク）セミナーを 2025 年 1/31 開催予定。
- ⑩ 「人材育成男女共同参画」・・・以下の内容が報告された。
 - ・ 委員会補助金の使途報告（web ページ改訂）
 - ・ 雇止めに関する緊急アンケートを受けた学会の提言を 1/24 に提出。
- ⑪ 「広報委員会」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 1/16 に, Google アカウント申請フォームの不具合対応.
- ・ 学会サイトの多要素認証が不安定となることへの対処確認中.

4) 理事長報告

- ・ 特になし.

5) その他

- ・ 日本学術会議地球惑星科学委員会合同分科会が 2024 年 12 月 27 日に開催された. 地球惑星科学将来構想改訂に向けたスケジュール等や, 見解「より強靱な原子力災害対策に向けたアカデミアからの提案—放射性物質拡散予測の積極的な利活用を推進すべき時期に来たと考えます」のフォローアップ・レポートについて報告された.
- ・ 2025 年度日本気象学会事務局の体制について報告された.

以上について, 議事録を作成し, 理事長および監事が記名押印する.

2025 年 3 月 10 日

公益社団法人日本気象学会

理事長 竹見 哲也

監 事 川瀬 宏明

監 事 吉田 聡